



RI 第 2770 地区 **Rotary**  第 5 グループ

鴻巣水曜ロータリークラブ

「より大きなインパクトをもたらす」

Imagine rotary

第 1405 回例会 2022 年 9 月 14 日



例会プログラム

点鐘

ロータリーソング斉唱(奉仕の理想)

四つのテスト唱和

会長挨拶

会員卓話

「私の履歴書」

出席報告

スマイル報告

点鐘

司会 田邊 聖 SAA

柿沼洋一会員

宮内たけし直前会長

山口光男会員

小川加奈子会員

松本安永委員長

松本安永委員長

点鐘

宮内たけし直前会長

ロータリーソング斉唱

ロータリーソング

奉仕の理想

四つのテスト唱和

柿沼洋一会員

会長挨拶

宮内たけし直前会長



9月のロータリークラブの月間目標は「基本的教育識字率向上月間」です。教育識字率

とは何なのでしょう？世界で初等教育年齢期の子供 11 人に一人が学校に通えない一方、青年期のこどもの場合は 5 人にひとりを通えず、世界中で読み書きのできない 15 歳以上の人の数は、7 億 7500 万人。これは、全世界の成人の 17% に当たります。学校に通っていないこどもは世界に 6700 万人。特に女性の非識字率は顕著で非識字率人口の 64% を占めています。世界 183 か国の中で識字率 99% 以上の国は日本を含め 46 か国ある一方で、70% に満たない国が 35 か国、30% に満たない国がエチオピア、マリ、スーダンなど 5 か国あります。プロジェクトの一部としてこどもたちの文章力と思考力の向上のために、市と協力して作文コンクールを開催。その中で、港区長賞を受賞した六本木中学校福住星輝さんの作品を紹介します(別紙)。人と自然の関りを考えさせられるものでした。ロータリー月間目標を考えてみる良い機会だと思います。

幹事報告

本多邦光 幹事

1 木下純一会長の病状です。再手術を予定しておりますが、手術の日程は未定で、現在の体力の回復のためリハビリ中です。



リハビリは、前向きに頑張っています。

2 並木鴻巣市長に先日、宮内直前会長と

表敬訪問に伺いました。並木市長より名誉会員の入会申込書を頂きました。10月の理事会に上程して審議を経て、10月より正式に名誉会員になります。

3 奄美大島への親睦旅行の申し込みは、来週の例会までに井上会員へ出欠のご連絡をお願いします。

私の履歴書



山口光男 会員

昭和 27 年 12 月 21 日 長野県南佐久郡小海町に 3 人兄弟の 3 番目として誕生

昭和 46 年 3 月長

野県立臼田高等学校を卒業

昭和 46 年 4 月 東京都小平市にある国土建設学院入学

昭和 47 年 3 月 国土建設学院卒業

昭和 47 年 4 月 日本測地設計株式会社に入社

昭和 47 年 12 月 日本測地設計株式会社を退社

昭和 48 年 3 月 千葉市の土地家屋調査士事務所へ見習い

昭和 48 年 11 月 土地家屋調査士試験合格

昭和 49 年 1 月 東京土地家屋調査士会に登録、山口事務所開設

昭和 50 年 4 月 妻、玉禪と結婚

昭和 52 年 11 月 長男、剛誕生(現在、一緒に仕事をしている。)

昭和 53 年 11 月 二男、純誕生

昭和 54 年 11 月 埼玉土地家屋調査士会に登録、入会

昭和 54 年 11 月 山口土地家屋調査士事務所鴻巣市滝馬室に開設

昭和 55 年 7 月 鴻巣青年会議所入会

昭和 57 年 3 月 寺山、山口合同事務所開設

平成 4 年 1 月 鴻巣青年会議所理事長

平成 5 年 3 月 鴻巣水曜RC入会

平成 5 年 12 月 鴻巣青年会議所卒業

平成 7 年 2 月 鴻巣市歩け歩け協会入会

平成 7 年 8 月 山口土地家屋調査士事務所鴻巣市人形 1 丁目に開設

平成 13 年 1 月 山口土地家屋調査士事務所鴻巣市東 3 丁目に移転

平成 15 年 5 月 埼玉土地家屋調査士会理事に就任

平成 21 年 5 月 埼玉土地家屋調査士会研修部長に就任

平成 25 年 5 月 埼玉土地家屋調査士会広報部長に就任

平成 27 年 5 月 埼玉土地家屋調査士会副会長に就任

平成 29 年 5 月 埼玉土地家屋調査士会相談役に就任

令和 3 年 6 月 法務大臣表彰受賞

小川加奈子 会員



今後の活動予定

出席報告

松本安永 出席委員長

	本日	修正	
	9月14日	9月7日	8月24日
	1405回	1404回	1403回
	通常例会	通常例会	通常例会
会 員 数	29	29	29
出 席 数	21 (ZOOM出 席2)	18 (ZOOM出 席1)	18 (ZOOM出 席1)
欠 席 数	8	11	11
例会出席率	72.41%	62.09%	62.09%
M U 数	2	4	7
合計出席数	23	22	25
出 席 率	79.31%	75.86%	86.21%

9月21日(水)	第1406回通常例会
9月28日(水)	第1407回移動例会 和風レストランとき
10月1日(土)	第1408回移動例会 こうのす花火大会
10月5日(水)	振替休会
10月12日(水)	第1409回通常例会
10月19日(水)	第1410回通常例会
10月23日(日)	第1411回移動例会
10月26日(水)	振替休会

スマイル報告

小川加奈子 委員長

スマイル1・・・山口会員、小川会員、私の履歴書よろしく
お願いいたします。

津田健三会員・宮城 仁会員・小畑正勝会員・加藤勉
会員・馬場知行会員・山口光男会員・間室照雄会員・
松本安永会員・井上脩士会員・大澤二三夫会員・坂口
正城会員・細野潤一会員・宮内たけし会員・本多邦光
会員・松本英利会員・小川加奈子会員・植原良介会員

前回までの合計	141,000 円
本日の合計	18,000 円
次回繰越金合計	159,000 円

クラブ会報委員会

委員長 大澤二三夫 副委員長 井上脩士
委員 松本英利 田邊 聖 植原良介

(別紙)

港区長賞

都会と僕とカラス

六本木中学校 福住星輝

「カー、カー」

カラスが鳴いている。僕はこのカラスという動物が大好きである。大きくて真っ黒、つぶらな瞳。しかし多くの都会に住む人間は、この鳥が嫌いである。なぜか？第一にカラスはゴミをあさり、そしてまき散らし道を汚す。第二にカラスは人から食物を奪う。

「カラスはなぜ鳴くの？ カラスは山に・・・」

数多くの人達がこの唄を知っていると思う。このようにカラスは本来山や森に住む鳥である。今日、カラスがなぜ人間が多く住む都会に暮らしているのであろうか。第一に都市化によって多くのカラスが住む場所を奪われ、都会に生息せざるをえなくなったということがある。第二に都会に住む人間は多くのごみを出すということがある。それもカラスが大好きな食べ物のごみである。カラスは人間と同じ雑食である。すなわち人間が食べるものはカラスの好物と言える。都市化が加速する、ゴミが増える。そしてカラスが都会に増える。人間はこの悪循環に気づくことなくカラスを忌み嫌う。これではカラスがかわいそうなのではないかと僕は思う。ただ住む場所を奪われ都会には山や森にあるような食べ物は無い。カラスは生きるためにゴミをあさり、食べ物を奪う。

都会に住むカラスにはこれしか生きる方法はないのである。「大きく黒く怖い」「ゴミを食べ散らかして汚くする」これらは全て人間のエゴである。カラスなどの鳥類は人間よりもずっと昔から地球に生息していた。あとから地球に生まれ、好き勝手のことをやって多くの野生動物を追いやっているのは人間である。それにも関わらずカラス等を「害鳥」と呼び忌み嫌うのはおかしい。

昔の人々は前述した唄からもわかるようにカラスなどの鳥類やその他の野生の動物と共存、共生してきたはずである。昔の人々が行ってきことを現在都会に住む僕たちが出来ないはずはない。どこかでこの悪循環を断たなければならないと思う。それにはどうすればよいのであろうか。第一に自然をむやみやたらに壊さないことである。森林の伐採は地球上の緑を減らし、結果として二酸化炭素を増大させ地球温暖化につながっている。もっともっと緑を増やしカラスなどの野生の動物が住みやすい環境を作っていかなければならない。いわゆる「害鳥」のカラスも住む場所が無ければ都市に住まわざるを得ないのである。第二にゴミをこれ以上増やさないこと、逆に減らしていかなければならないことである。特に、食べ物を無駄にしないことが大切である。人間が食べるものは全て大自然からの贈り物である。これは家庭から出るゴミに限らない。都会の飲食店やコンビニから出るゴミの中にはまだ食べることが可能なものが多い。もっともっと自然からの贈り物を大事にして捨てないように心掛けなければならない。

このように自然を大切にして、食べ物を大事にしていけばこれからもカラス等の野生動物と人間は共存、共生していくことが可能であるとぼくは思う。カラスと僕との関係は、地球上に住む多くの動植物と人間との関係でもある。これ以上今以上にこの関係を悪化させてはならない。それは地球上に住むすべての生き物が住みやすい環境を僕たち人間が作っていかなければならないのである。これが現代に生きる人間の使命であると僕は考える。